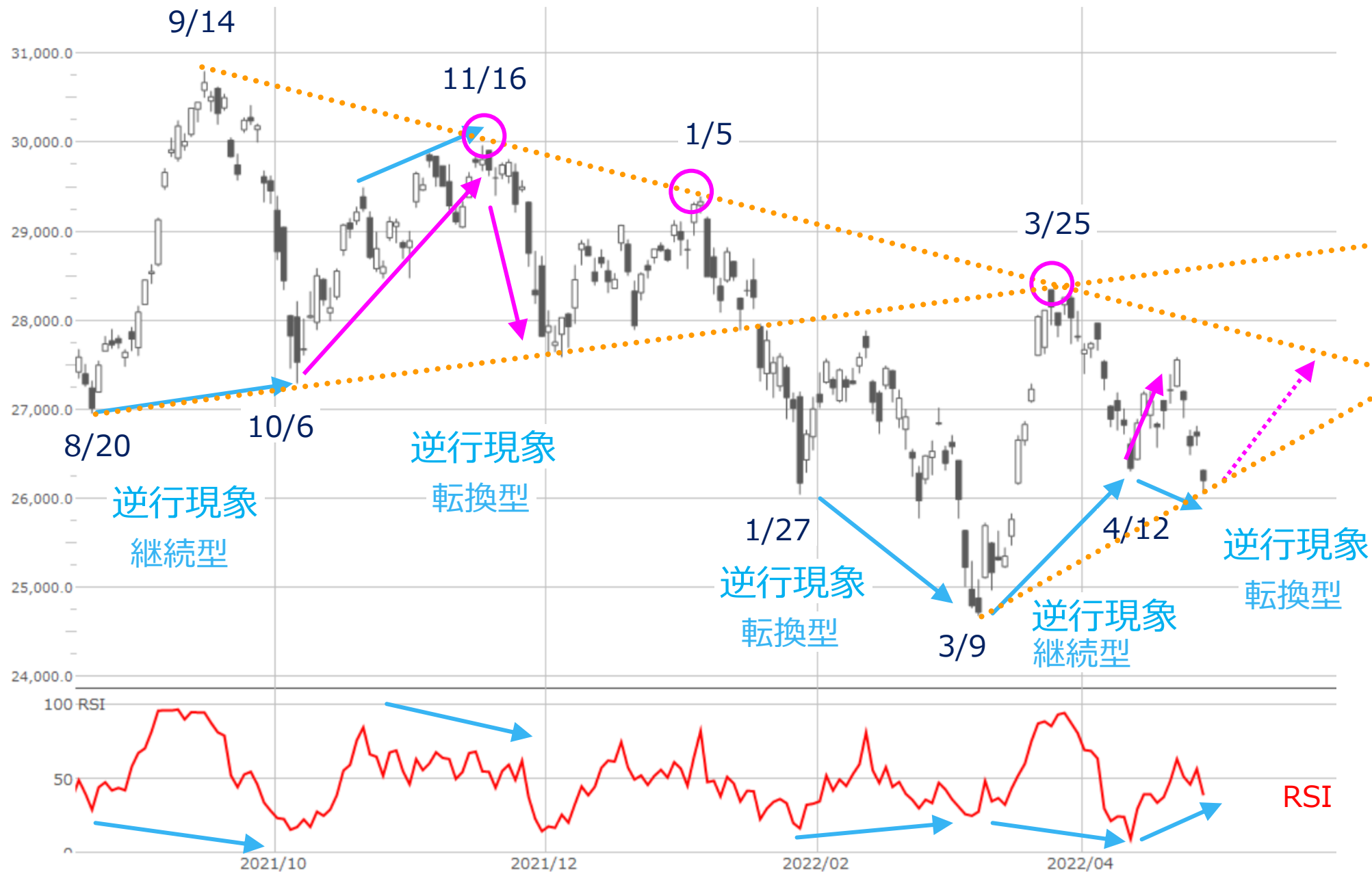


# ■ 日経平均(日足)とMACD



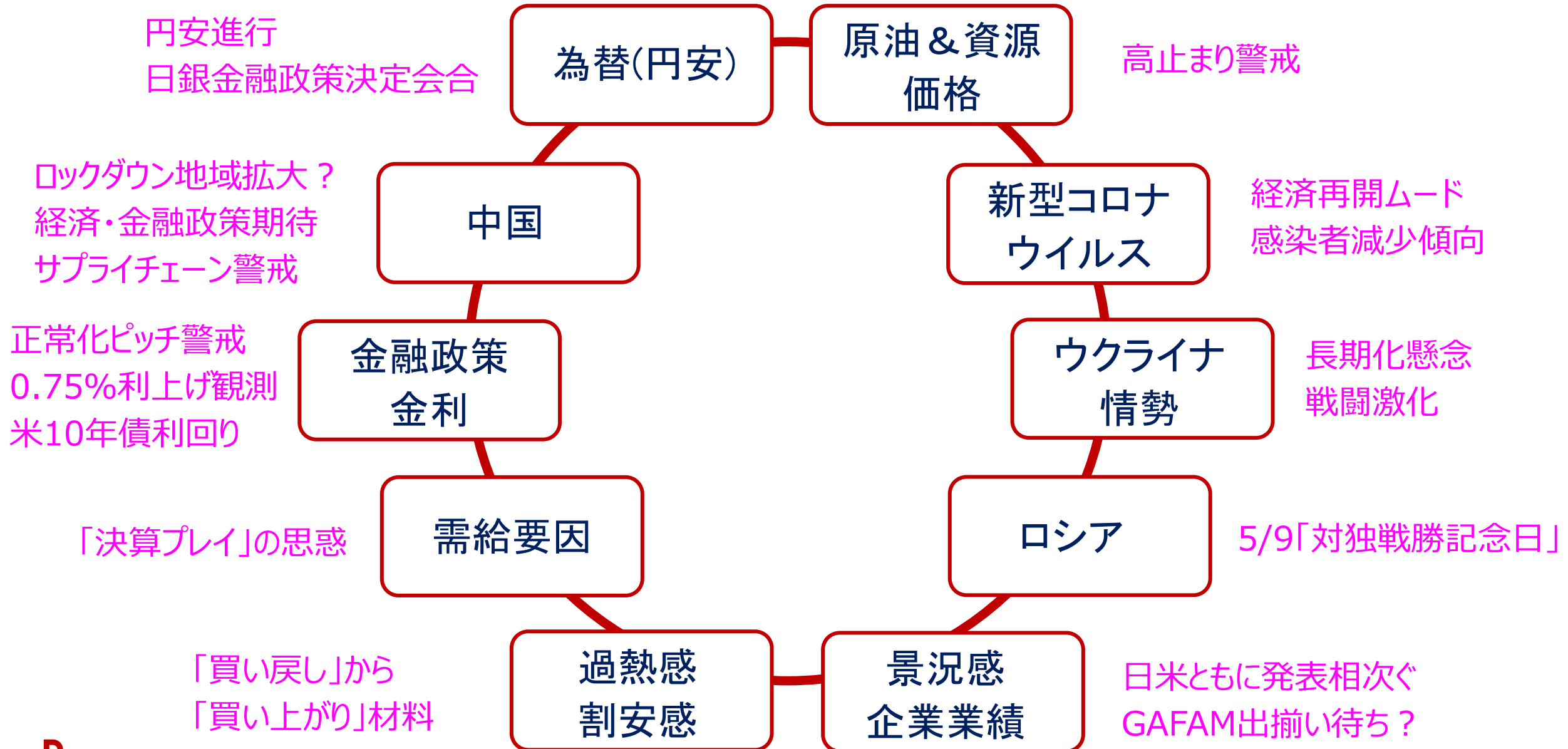
# ■ 日経平均(日足)とRSI



# ■ 日経平均(週足)と線形回帰トレンド



# ■ 株価材料の組み合わせ



# 国内決算発表スケジュール (2022年4月26日時点の予定)

## 4月

日	月	火	水	木	金	土
					1 6件	2
3	4 13件	5 14件	6 10件	7 24件	8 48件	9
10	11 27件	12 46件	13 77件	14 144件	15 4件	16
17	18 3件	19 1件	20	21 8件	22 13件	23
24	25 12件	26 36件	27 98件	28 226件	29 1件	30

373」銘柄

## 5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 15件	3	4	5	6 62件	7
8	9 101件	10 268件	11 284件	12 569件	13 1201件	14
15	16 137件	17 1件	18 5件	19 4件	20 19件	21
22	23	24	25	26	27 1件	28
29	30	31				

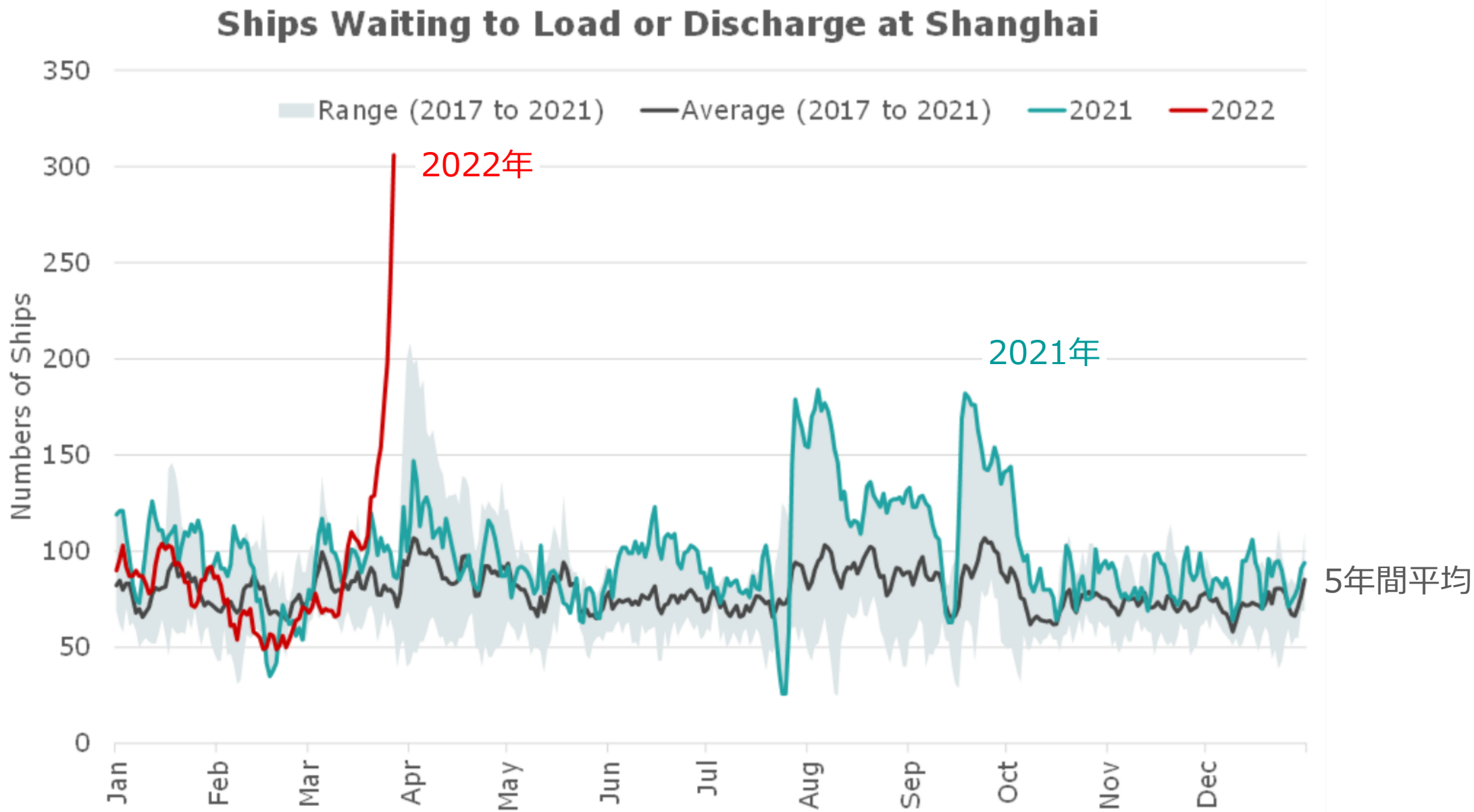
2,423銘柄

(楽天証券HP 国内株式決算カレンダーより)

# ■ ユーラシアグループ「2022年の10大リスク」

項目	内容
(1) ゼロコロナ政策の失敗	2020年の「ゼロコロナ」政策の成功体験から抜け出せず、感染拡大の度にロックダウンが繰り返され、サプライチェーンの混乱など国内外の経済の足を引っ張るほか、中国国内での不満も蓄積される
(2) テクノポーカーな世界	デジタル空間の拡大に伴う巨大ハイテク企業の支配力が進展。政治的・法的ガバナンスのハードルが高いほか、現実世界への影響も懸念
(3) 米国中間選挙	共和党勝利の可能性はすでに想定済みで、中間選挙そもものが危機ではないが、2024年の大統領選挙の前哨戦であり、トランプ復活観測と民主党政権のレームダック化による政治・経済・外交への影響を警戒
(4) 中国の国内回帰	党大会を控えた政治情勢がもたらす、政策・国内外企業への影響が中国の中長期的な成長を阻害する可能性
(5) ロシア	米国とNATOとの対立、米国へのサイバー攻撃・選挙妨害、ウクライナ関係
(6) イラン	米国とイランは危機に瀕したまま2022年を迎える。イランの核開発計画は、核合意の制限に拘束されることなく急速に進展している
(7) 環境対策	長期的な脱炭素化目標と短期的なエネルギー価格上昇が反目しあう
(8) 力の空白地帯	アフガニスタン、サヘル地域、イエメン、ミャンマー、エチオピアなどの紛争地域での地政学的リスク
(9) 文化戦争に敗れる企業	多国籍企業が抱える職場の多様性や人権問題、サプライチェーン等への配慮と矛盾、政治圧力が企業活動の重石に
(10) トルコ	2023年の選挙をにらんだ金融・経済・外交政策が悪影響

# ■「ゼロコロナ政策」の影響 ～ 供給網への懸念 ～



Source: VesselsValue March 2022